

# 愛知県同胞援護会だより

第244号

平成20年11月16日発行



第49回春日井市菊花大会最優秀賞入選作品  
(春日苑利用者)

目次

春日井・豊田グループ	P.2	若草苑	P.7
春緑苑	P.3	第2とよた苑	P.8
第2春緑苑	P.4	サンホーム豊田	P.9
春日苑	P.5	春日井・豊田グループ	P.10~12
とよた苑	P.6		

法人事務局

〒487-0031 愛知県春日井市廻間町703-1 TEL 0568-88-8302 FAX 0568-88-0306  
URL <http://www.mc.ccnw.ne.jp/aichi-douen/>  
e-mail: douen@mc.ccnw.ne.jp



# 第2春緑苑 いい汗かいた 運動会!

10月、秋晴れの空の下、各施設で運動会を開催し、盛り上がりしました。

▶第2春緑苑では開設以来初めての屋外運動会をにぎやかに実施



▶10月13日(月)、春緑苑春口苑合同運動会を開催!



春緑苑・春日苑

## 若草苑デイサービス



▶各アイリードスでも運動会を実施。心に返って体を動かしました

▲借り物競走で優勝し、喜びのパンサイ!

▶運動会といえは主入れ! 皆さんかごを投げかけ、力いっぱい主を投げます



第2とよた苑



▲春日苑借り物レースも白熱!

▲春緑苑に緑を増やそうゲーム! 赤白どちらが勝つか?



瑞宝双光章



瑞宝單光章

この度、当法人役員の方が受賞されました。

### 平成20年秋の叙勲

▶水風船でポンゲーム、めをねらって水風船を投げます



とよた苑

▼アハウス豊田、サンホーム豊田の利用者さんも参加、みんなてスポーツの秋を満喫



### 表彰状・感謝状

平成20年度の各種社会福祉大会において左記の職員が表彰を受けました。

#### 愛知県知事 感謝状

- 澤本規昌 (法人事務局 事務局長)
- 上屋加代子 (特別養護老人ホーム春緑苑 副主任)
- 長谷川かよ子 (春緑苑短期入所施設 副主任)
- 余村和子 (身体障害者更生施設施設春日苑 課長)
- 小池さおり (身体障害者更生施設施設春日苑 副主任)
- 高見智美 (特別養護老人ホームとよた苑 副主任)
- 三浦佳美 (とよた苑デイサービスセンター 介護職員)
- 伊中知華 (春日井市社会福祉協議会 事務局長)
- 柴田裕子 (特別養護老人ホーム第2とよた苑 副主任)
- 大竹由美子 (特別養護老人ホーム春日苑 副主任)
- 井上豊 (春日井市長 表彰)

#### 春日井市社会福祉協議会 感謝状

- 竹田智枝 (法人事務局 事務局長)
- 高橋慶多 (特別養護老人ホーム春緑苑 副主任)
- 新妻香奈 (特別養護老人ホーム春緑苑 介護職員)
- 大塚安希子 (特別養護老人ホーム春緑苑 生活相談員)
- 加藤滋美 (特別養護老人ホーム春緑苑 事務局長)
- 菅原山早絵 (春緑苑短期入所施設 介護職員)
- 城田泰明 (春緑苑ヘルパーステーション サイビス提供責任者)
- 田原真由美 (春緑苑ヘルパーステーション サイビス提供責任者)
- 大島一宏 (グループホーム春緑苑 介護職員)
- 橋本宜和 (春緑苑デイサービスセンター 副主任)
- 三宅智江 (春緑苑デイサービスセンター 介護職員)
- 熊谷利江 (春緑苑短期入所施設 介護職員)

#### 愛知県社会福祉協議会会長 表彰

- 佐藤俊子 (春緑苑短期入所施設 施設長)
- 愛知県社会福祉協議会会長 感謝状
- 鬼頭淳子 (法人事務局 副主任)
- 奥村裕輔 (法人事務局 副主任)
- 酒井恵美子 (春緑苑短期入所施設 介護職員)
- 船垣真弓 (地域包括支援センターとよた苑 介護職員)
- 大竹真琴 (とよた苑短期入所施設 介護支援専門員)
- 浦野長 (とよた苑ヘルパーステーション サイビス提供責任者)
- 加藤朝子 (とよた苑ヘルパーステーション サイビス提供責任者)
- 牛村山香 (ケアハウス豊田 介護職員)

#### 春日井市社会福祉協議会 会長表彰

- 本莊幸子 (グループホーム春緑苑 副主任)
- 粕谷光代 (特別養護老人ホーム第2春緑苑 課長)
- 前田浩二 (特別養護老人ホーム第2とよた苑 副施設長)
- 奥村裕輔 (法人事務局 副主任)
- 船垣真弓 (地域包括支援センターとよた苑 介護職員)
- 大竹真琴 (とよた苑短期入所施設 介護支援専門員)
- 浦野長 (とよた苑ヘルパーステーション サイビス提供責任者)
- 加藤朝子 (とよた苑ヘルパーステーション サイビス提供責任者)
- 牛村山香 (ケアハウス豊田 介護職員)
- 青山厚子 (特別養護老人ホーム第2とよた苑 課長)
- 仙石雅己 (春緑苑短期入所施設 課長)
- 大川原家木子 (春緑苑短期入所施設 介護職員)
- 松山聡子 (地域包括支援センターとよた苑 副主任)



# 春緑苑

## 特別養護老人ホーム

車いすがとてもきれい!

10月20日(月)、藤山台中学校区のPTAの皆さんが車いすの清掃ボランティアのため、来苑されました。今年も大変きれいにしていたいただき、大助かりでした。



▶あつという間にピカピカに

## 地域包括支援センター

### 今後の介護予防教室の予定

#### 「変形性膝関節症」

～家庭でできる  
簡単リハビリ体操～

【日時】11月27日(木)

14時～15時30分

【講師】名古屋徳洲会総合病院  
理学療法士 太竹浩史氏

【定員】35名(定員になり次第申込み締め切りになります)

#### 認知症予防

「年賀状を絵で  
書いてみよう」

【日時】12月15日(月)

14時～15時30分

【講師】地域包括支援センター春緑苑  
看護師 太山美幸

【定員】25名(定員になり次第申込み締め切りになります)

【会場】東部市民センター 第2集會室

【参加費】無料

【申し込み先】

電話 (0568)88-8303

FAX (0568)88-7938

メール chiikihokatsu@douen.or.jp

担当 水野、寺井、池部、太山

## 元気いっぱい 園児に笑顔



▲秋晴れの中、一生懸命応援しました



10月4日(土)、神原保育園の運動会のご招待を受けました。園児の皆さんの元気をいっぱいもらって、楽しい時間を過ごしました。

## デイサービス 心のこもった作品

10月11日(土)～23日(木)まで  
アスティー高蔵寺市民ギャラリー

ケアハウスは  
今年も手作りバザー  
ア店



▲10月26日(日)、春緑苑グループの利用者さんと出かけました

## 福祉のつどいで交流

## ケアハウス春緑苑

### 梅田寿子先生の 紙粘土創作展に出席



紙粘土を  
教える  
梅田先生と  
一緒に



▲個々で作ったつばきを竹飾りに活かしました

## がんばれパン食い競走



▲一生懸命パンを口指して突進

## シヨートステイ

秋晴れの続く10月、スポーツの秋がやってきました。  
シヨートステイの利用者さんは春緑苑・春日苑合同運動会でパン食い競走に参加しました。

皆さん大きな口を開け「どのパンにしようか。」あつちのパンがいい。」などと声にし晴れやかな顔をしてパンを手にしておられました。  
これからも言葉の下で体を動かす機会を大切にしていきます。

### ●特選



酒井 山崎 幸二

### 新任職員紹介

(11月1日付)

## ●11・12月の行事予定

11月21日(金) 月例祭

11月28日(金) 誕生会

12月20日(土) 家族ボランティア

「楽しんで作られている姿が目に浮かびます。」  
「あの感想をいただき、利用者さん、職員、一回元氣付けられました。」  
▶たくさんのお敵な作品





# 第2春緑苑

## 特別養護老人ホーム

### 自分史を懐かしむ

自分の人生が本に……。自分史を作ってくたさるボランティア



▶素敵な本が出来ました!

### いつもおまかせです

今日から、希望のある利用者さんにお化粧をするサービスを始めました。お化粧担当は、事務員の青山さんです。

女性であれば、いつまでもきれいでいたいの自然なこと。

の方が定期的に顔へ来てくださいます。現在、3名の方の自分史に取り組んでいただいております。

先日、「自分史」が完成した利用者さんは、ボランティアの方が、自分史をテープに吹き込んでくださり、「そうそう。そんなこともあったわねえ」と懐かしい思い出に耳を傾けておられます。

お誕生口や外出時にきれいな化粧をした利用者さんたちは、「恥ずかしいわ。」とこいながら、鏡とにらめっこされている姿がすごく印象的でした。



▶より美しく笑顔中です☆

## デイサービス

### スポーツの秋

デイサービス恒例の運動会(今年で3回目)を10月14日(火)16日(木)の3日間行いました。延べ100人の利用者さんが紅白に分かれ、重心にかえてパン食い競争と玉入れと応援合戦を行い、楽しまれていました。最後にお約束の職員対抗マッシュマロ探しにて皆さん大爆笑となりました。



▶赤が勝つか白が勝つか、熱い戦いです!

## 10月の選択食

A食 帆立ときこの雑炊  
B食 天むす

### 選択メニューの日

日時:10/16(木) 祝日



皆さん「おいしい!」と好評でした。

### 職員リレー理想

#### 笑顔って最高!!

手務員 小畑栄治

「一笑一片、一怒一者」私の好きな言葉の一つです。

普段から笑顔の絶えない人は、体かに実年齢よりも若く魅力的に見えます。そして素敵な笑顔は、周囲の人をも何だか幸せな気分になさせてくれる力を持っているように感じます。

日々の生活に追われていると、いつも笑顔でいることはなかなか難しいですが、体調を整えて心穏やかに、毎日を笑顔で過ごすことができればいいな、と思っています。

## 地域包括支援センター

### 12月の福祉講座のご案内

「関節の痛みの予防・軽減について」

- 【日時】 12月10日(水) 14時~15時30分
- 【講師】 松井整形外科医院  
リハビリテーション部主任 内海 昇平 氏
- 【会場】 特別養護老人ホーム第2春緑苑 地域交流センター
- 【定員】 45名 (定員になり次第、申し込み締め切りとなります。)
- 【参加費】 無料
- 【申し込み先】 電話 (0568)56-9166 担当 田中、多治見、熊崎、石野



### 11・12月の行事予定

- 11月21日(金) 豊勝女様慰問
- 11月26日(水) 理美容
- 12月13日(土) 家族ボランティア

### 新任職員紹介 (11月1日付)

#### 特養



介護職員 好崎英代子



# 今月の行事

楽しいね



たこやき  
おいしいね

11月3日(月)、お隣の養和荘の「ふれあいまつり」に行ってきました



菊の展示会で  
最優秀賞をとりました



- 11・12月の行事予定
- 11月17日(日) インフォルエンザ 予防接種
- 11月24日(日) 保護者ボランティア
- 12月11日(木) 大人掃除のつぎ、レソの口と忘年会



▶こんな人大きく育ちました！(人物左側)



**障がい者生活 支援センターだより**  
障がい者施策推進協議会 に参加して

10月29日(水)に第3回障がい者施策推進協議会が行われました。

障がい者総合福祉計画には、一つに障がい者基本法に基づく「障がい者計画」が、もう一つに障がい者自立支援法に基づく「障がい者福祉計画」があります。それを、一体的に策定し、総称したものが障がい者総合福祉計画です。

今回の主な内容として、地域移行や福祉サービスの充実といった重点課題・相談支援の充実・地域自立支援協議会・災害時要支援者支援体制等21年度に向けた見直しについて協議が行われました。

障がい者自立支援法でも地域移行の促進が課題として上がっていますが、そのためには地域で障がい者を支えていくための制度や地域住民の障がいに対する理解・協力が不可欠なものであると感じました。

【お問い合わせ】  
TEL(0568)88-7637  
FAX(0568)88-5704  
Eメール:kasugasan@mc.orw.ne.jp  
担当 渡辺・住岡まで



▼すごい勢い!!

▲けっこう難しいぞ

**防火訓練をしました**

毎月第3水曜日は防災訓練を行っています。9月23日(水)には、水消火器で消火訓練を行いました。消火器を触るのは初めてという方が多く、最初は手が出ないこともありましたが、慣れてくると、皆さん火に見立てたタンボールに勢よく水を当てていました。

## ワーカー 鷹来

**新任職員紹介**  
(11月1日付)

  
生活支援員 今し 文枝

10月26日(日)に総合福祉センターにて行われた福祉のつどいに参加しました。パン販売とワーカーを行い、地域の皆様にワーカー鷹来のことを知ってもらい、良い機会となりました。

パンとワーカーがたくさん売れて楽しかった。来年もまたやりたい。



▲たくさんの方にきていただきました

## 福祉のつどいに参加



# とよた苑

## 大豊作

10月15日(水)、益富中育友会の方と一緒に芋掘りを行いました。

さつまいもを植えてから早5ヶ月。ちゃんと育っているかドキドキでしたが、掘っていくと大きなさつまいもが次々上から顔を出しました！大きく実ったさつまいもを見て、「重たくて片手じゃ持てないよ」、「私の顔より大きい?」と皆さん嬉しそうに話をされていました。掘ったさつまいもは皆さんでおいしくいただきました◎



▲こんなにたくさん掘れました



▲やまひこ学校大運動会スタートです

10月23日(木)、日本昭和村へ行きました。学校や役場など昭和30年代の懐かしい風景を見て、思い出話に花が咲きました。

園内を散策し、雰囲気たっぷり味わった後は丘の上にあるコスモス畑へ。満開のコスモスに、「こんなにきれいな花があるんだね。」と三言われる方も。大満足の一日になりました。



▲100万本のコスモス畑です

## デイサービス

### 手作り秋を!

10月、デイサービスでは、秋色に染まる色とりどりの落ち葉を作り、一つの大きな貼り絵を作りました。もみじやいちじょうの葉の形に切り取った紙を、クレヨンで塗っていきます。

利用者が思う秋の景色は様々で、1色しか使わない人も、何色も使って本物と見間違えるような落ち葉を作る人など、皆さんの葉ができました。完成した時は、利用者さん・職員歓声を上げ、デイフロアも秋色に染まっていきました。

## 居宅介護支援事業所

### デイサービスは

### どうやって選ぶの?

初めてデイサービスを利用する時、どこにしようか迷ったことありませんか? 家から近い、近くの人がみんな行っている、ケアマネジャーに任せているなど様々な方がいます。

デイサービスにもそれぞれ個性があるので、その人に合った

▲こんなに大きい葉っぱは本物だったらいいのになあ



▲きれいに塗れました!



▲完成しました!お歌でしよ!

場所を選ぶことが重要です。例えば、認知症がとでも進行しているけど大丈夫かしら? と思われる方には認知症対応型のデイサービスもあります。

まずはご希望に合った候補を絞り、利用希望の曜日に見学または(設定があれば)お試し利用されることをおすすめします。

## 10月23日(木) 室内一斉消毒実施しました。

消毒を実施して数分後、虫の姿を発見!! 季節の変わり目の恒例行事の一日となりました。

## 長寿の源



▲ケアハウス豊田では手作りの栄養成分たっぷり、ゴーヤ料理をたくさん出しています

## ケアハウス豊田



### 養護若草苑

#### いざとなったら

#### 任せてね!!

10月22日(水)、毎月の防災訓練の後に、炊き出し訓練を行いました。火事で厨房が使用できない、職員もいないという想定。利用者さん全員が必ず何かの役割につき、なべでカレーを作り、土輪でししゃも、ウインナーを焼きました。



▲味の決め手となるカレーを慎重に混ぜ入れ完成間近!



▶香ばしく揚げたししゃもが食欲をそそるね

### 新しいテレビに喜び倍增



仲間同士協力しあつてできた食事に、皆さん「おいしい」の一声でした。

「か?」など、四苦八苦ししていました。また、土輪壇も火が強すぎて焦げたり、ウインナーが網から落ちてしまつたりと四苦八告。

10月13日(月)、ロビーと食堂に液晶テレビがやってきました。このテレビは、くくなられた利用者さんのご遺族の方から寄贈していただきました。

「いいなー大きな画面は。」「画像がきれいだなー。」「これが今はやりのテレビだな。」と皆さん大喜び。

大切に使用させていただきます。本当にありがとうございます。

### 若草苑デイサービス

#### 私のライフワーク

デイサービスでは、塗り絵・貼り絵・縫い物などを行っています。

その中でも、長くご利用されているSさんとHさんは、昔話の絵本を題材に貼り絵で紙芝居を作成しています。お話を伺うと、「昨日、塗り絵をしている夢を見たよ。」「貼り絵をするのが楽しんだよ。」と話してくださいました。上手いかわりに悩むこともありすが、何かに夢中になれるって素敵ですね。

また、パッチワークをしているFさんは、「縫い物が好きで、



一寸ほうしの作品作り中に夢中なSさんとHさん



### 東山デイサービス

#### 芸術の秋

#### 絵画コンクール

東山デイサービスで初めての絵画コンクールを開催しました。テーマは、10月のカレンダー「柿」。利用者の皆さんに思い思いの色を付けていただきました。日々熟した柿から、ちよつと渋めの色合いの柿まで、色とりどりの柿が完成しました。

塗り上がった作品を壁に飾り、利用者の皆さんに審査をしていただきました。「これは美味し作品ができるのが楽しみだよ。」と話してくださいました。

3名とも、作業している時は、とても真剣な表情で、いきいきとされているのが印象的です。これからも、元気にデイサービスに来て、たくさん作品を見せてくださいね。



▲パッチワークの出来上がりが楽しみなTさん



▲塗り絵は楽しいですよ

そうだね。「この柿は甘そうだ。」などと口にしながら真剣に審査をされていました。投票数の多かった上位三名を表彰させていただきました。

東山デイサービスでは、これまでも作業療法の一環として塗り絵に取り組んできました。利用者の皆さんの腕前もどんどん上達しています。今回は初めてのコンクールでしたが、他の方の作品を気にされるなど、更なる向上心を感じられます。今後テーマを変え、コンクールを開催していく予定です。

▼入賞作品です



### 新任職員紹介

(11月1日付)



シルバートハウジング中野 生活援助員 佐野まほろ



## 第2とよた苑

### 元気な子どもたち とのふれあい

9月から10月にかけて、朝日小学校の4年1組と3組の児童さん60名が各クラス3日ずつの日程で交流活動のために来苑されました。

初回は、お互いの自己紹介や特技の披露。2回目・3回日は、児童さんが考えてきた魚つりゲームや紙芝居などを行いました。緊張がみだった児童さんもありましたが、徐々に打ちとけて笑顔も見られるようになりました。利用者さんも、自分の孫やひ孫に近い年齢の子ともたちとふ



▶魚釣りゲーム たくさん釣れました



▲紙芝居を楽しんでいます

れあい、楽しい時間を過ごすことができました。また遊びに来てください。

### 養護学校の 生徒さんと交流

10月17日(火)、豊田市立豊田養護学校高等部の生徒さん8名が、交流に来てくれました。手品を披露し、利用者さんと一緒に「もみじ」や「赤とんぼ」を歌ってくださいました。何日もかけての練習の成果で、見手手品も人成功/楽しいひとときを過ごすことができました。これを機に、もっと交流を深めていきたいと思えます。

### 介護士便り

#### 保見・猿投ユニット

10月5日(土)、地元の大清水神社で行われた秋祭りに利用者さん2名で参加しました。

当日は、秋晴れとはいかず、雨がシトシト降るあいにくの天気でしたが、お祭りの雰囲気や焼そば、おでんなどの料理を楽しませていました。私たち職員もいつもとは違う利用者さんの笑顔が見られて嬉しく思いました。

この季節は外出には最適なの



▲多くの地域の方もみえしていました

で、どんどん外出をしていきたいです。

### 居宅介護支援事業所

#### 治りたい

女性のKさんは昨年脳梗塞を発症して左半身麻痺になってしまいました。「治りたい。」という意志が強く、デイケアに通っています。

家族は仕事をしており、昼間は一人になってしまっていますが、「その間も家族に心配をかけたくない」、「飼っている犬の世話をしたい」などの思いがあり、リハビリを頑張っています。

目的に向かって頑張っているKさんをこれからも支援していきます。



▲マジックの披露 練習の成果ができました

### デイサービス

#### 真剣な眼差し

デイサービスでは最近男性利用者さんの間で囲碁が流行っています。「一局やりますか?」「やりましょう。」と自然と会話が始まり、なんとも嬉しそうな表情で、さあ対局です。

対局が始まると、柔らかな表情が一変して真剣な顔つきになり、途中「うくんなるほど。」と独り言が出ることも。また、他の利用者さんもその一局が気になって観戦することもあります。

これからもこうした楽しい雰囲気の出る輪が広がるようにしていきたいです。



▶名勝負が繰り広げられています



サンホーム豊田

10月はあちらこちらへ出かけ、秋を満喫してきました。



マイクラム完成！  
(10月17日(金))  
瀬戸市 パートル工房にて



動物を見ながらのんびり散歩  
(10月20日(月)) 岡崎東公園にて

グループでお出かけ

行楽の秋



▲パターゴルフは難しかった…  
(10月31日(月)) 豊田市 フォレストヒルズにて



▲初めて見る魚がいっぱい  
(10月23日(木)) アクア・トト岐阜にて



城は男のロマンだ！  
(10月30日(水)) 岡崎城にて

スポーツの秋

10月26日(日)、サン・アピリティーズ豊田で行われた「第5回障がい者ふれあいスポーツフェスティバル」に利用者さん8名が参加しました。

カローリング、フライングデイスク、ダーツに挑戦し、慣れない競技ながら、フライングデイスクでは3位に入る利用者さんもあり、楽しい時間を過ごすことができました。

美里中で音楽発表

11月1日(土)、美里中学校文化祭にご招待いただき、音楽クラブメンバーが、合唱、合奏を披露しました。



▲大勢の皆さんの前で練習の成果を披露

生活介護事業

生活介護も秋を満喫！

10月13日(月)、すがすがしい秋晴れのもと、運動会と文化祭を行いました。

準備段階から「僕、やるよ！」「頑張ろうね！」と気合十分だった運動会。午前中、綱引き、障害物リレー、聖火リレーに汗を流しました。

▼カローリングに初挑戦!!



▲フライングディスクで銅メダル

●11・12月の行事予定

- 11月15日(土) 運動会
- 11月20日(木) インフルエンザ予防接種
- 11月21日(金) 外注班外出
- 11月26日(水) 母会バイキング
- 11月27日(木) 生バンドボランティア
- 11月30日(日) 豊田マラソン
- 12月3日(日) 保護者役員会、誕生会

午後からは、文化祭として、職員・ボランティア様によるサックス、ギターなどを使った楽器演奏、利用者さんによる合唱をし、秋らしい一日を過ごしました。



▲ヨイショ！ヨイショ！



支えていただいた方々

10月1日〜10月31日(祝祭日、原則)

春緑苑

特養

寄付金

前並米親会 武内真代子・寺西真由美 福短和正・山本満子 塚田美智子 高木佳哉 園

寄付物品

安藤生花店 菊津清夫 中嶋 子 神楽保官 園 鈴木 大 松岡商事 柳 真野 志 長谷川美津子 愛知総合看護専門学校 大西久子 大崎建政 前百合子 松田ふさ子 木村ナツミ

ボランティア

森の会 小島光子 織田晴美 荒川圭子 日比野里津子 嶋田幸子 山田唯義 松岡加代子 若原貞子 安藤ゆう 星田優子 小林弘子 中岡忠 中岡真智子 金井規久 日比野恵美子 柴田由美子 斎藤花子 上藤節子 前柳邦子 西山啓子

寄付物品

心を傾う会 山本休乃 前日美枝子 山田清治 中野公子 森高子 立岡和子

寄付物品

「よび」会 原口式子 原本井恵子 古田和子 辻あけみ 武弘子 山浦世子 長原和子

寄付物品

「おんがくON」会 尾崎理恵

寄付物品

「意味知」会 森上阿古 平橋房江 吉川美智子 五味たか子 村瀬博

寄付物品

「ほくろまの会」古川時 近藤幸子 江崎芳美子

寄付物品

心を傾う会 長谷部真美子 松本ハルマ 水野久江 坂本美津 藤田照子 中村三千夫 四方レイ 川田英

第2春緑苑

11月1日〜11月31日(祝祭日、原則)

特養

寄付金

「春日井仲間」会 小池みち子 山口浩子 石垣まさみ 渡田静恵 柳田政子 佐那子 高橋紀子 各務美子 森山清子

寄付物品

「春山井仲間」会 小池みち子 山口浩子 石垣まさみ 渡田静恵 柳田政子 佐那子 高橋紀子 各務美子 森山清子

寄付物品

「心を傾う会」尾崎節子 澤あづ子 田口まさ子 山田順子 小野政子 山本休乃 真福子

寄付物品

「よび」会 山田中穂 田中妙子 立岡紀子 服部明子 佐野陽子 池田まり子 丸山実 丸山良子

寄付物品

「高森台」会 高橋あけみ 小水曾上子 矢吹ほ子 辻丸昭江

寄付物品

「よび」会 長江道子 新原ヒサ子 山本篤子 伊藤千枝子

寄付物品

「個人介護支援事業所」

寄付物品

「ケアハウス」

寄付物品

宮下和次 木下ち江子 松岡商事 柳本満子 伊藤孝子 江尾久 安江ひかり 稲垣ゆき 岩田ミチヲ 加藤孝子 中西邦夫

寄付物品

「ボランティア」

第2とよた苑

12月1日〜12月31日(祝祭日、原則)

特養

寄付金

小林 山瀬歌子 北出英幸 大嶋キク子 鬼頭マナ 長谷川先子 渡辺ハル 安田 福地 渡辺 部長 谷川 齋藤 安田 菅野 林 岩男

寄付物品

「下津ボランティア」会 特ヒナ子 林順子 林まき子

寄付物品

「園」会 取りまらボランティア 各務助彦 稲垣文枝 藤倉まどり 園迫博子 中嶋光男 貞下明美

寄付物品

「個人」会 二浦茂 山本満子 塚田美智子 美馬義夫 大島明美 長谷川清和 伊藤健治 山田唯美 小西隆子

寄付物品

「ボランティア」

寄付物品

「個人介護支援事業所」

寄付物品

「ケアハウス」

寄付物品

「ボランティア」

寄付物品

「ボランティア」

寄付物品

第2とよた苑

12月1日〜12月31日(祝祭日、原則)

特養

寄付金

加藤時子 福岡サヨ 前木かほの 岡本直俊 加藤美子 山下正信 近藤サキ子 近藤ろと 富田わか

寄付物品

「ボランティア」

寄付物品

「ボランティア」

寄付物品

「ボランティア」

寄付物品

「ボランティア」

寄付物品

「ボランティア」

寄付物品

「ボランティア」

寄付物品

「ボランティア」

寄付物品

「ボランティア」

寄付物品



海外研修  
レポート

# ヘルシンキ市で海外研修 障害福祉コース (フィンランド)

知的障害者福祉施設フィンランド 理事長 高橋 政人

## 【フィンランド】

9月10日(水)PM①

ヘルシンキ市役所にて、障がい福祉課の職員及びソーシャルワーカーから講義を受ける。ヘルシンキ市では、障がい者の権利として、移送サービス(介護タクシーなど)、福祉用具、自宅の住宅改造サービスを無料で提供している(重度障がい者に限る)。また、市内の知的障がい者グループホームは30か所あり、移行が課題とのことである。



ヘルシンキ市役所にて講義を受ける

9月10日(水)PM②



▲週3回利用するサウナルーム。車いすの利用者さん用にサウナストーンが縦に配置されている。(ウェットリ)

続いて「METTUNEN KATYAMA HOTI」(ウェットリ)グループホーム(高年齢者用市営住宅の1フロア)を利用して運営されているグループホームで、22歳~67歳の知的障がい者および認知症高齢者9名が利用している。フィンランドの一般家庭と同様、サウナルームがあり、週3回利用されている。利用料(自己負担分)は、家賃等月額213ユーロ、食費日額10ユーロである。

日本でもよくありそうなグループホームであり、フィンランド

下においても多い形態のようである。知的障がいを持つ若者と、認知症の高齢者が同居している点が唯一の特徴であろうか。利用料に關しても日本と大差がない。

【イタリア】  
9月12日(金)AM



▲視察団メンバーとともに記念撮影(専門職養成センター)

受け入れており、このシステムを積極的にバックアップしている。

この組織の特長として、学内での養成のみならず、就職後も支援を続ける「生涯サポート」が挙げられていた。この背景には、イタリアの公定した障害者雇用率があり、法定雇用率は7%(日本は18%)である。

日本では、障害者自立支援法により、障がい者の就労支援が強化されつつあるとはいえ、イタリアでの取り組みを学び、制度、支援面での立ち遅れを感じる。

9月12日(金)PM

最後の訪問先は「COTTOLINGO COTTOLINGO DE MILANO DON ORIONE」(ドンオリーオーネ 障がい者センター)である。この施設(病院)は歴史の高名な神父、ドン・オリーオーネの思想に基づいて開設、運営され、同様な施設がイタリア及び世界各地にある。

現在、300人の女性利用者が、280~300人のスタッフにより、医療及び福祉的ケアを受けている。セクシコンは①障がい者、②高齢者、③リハビリの3つで、20

▲歴史を感じさせる中庭からの外観(ドン・オリーオーネ)



人ずつのユニット(ファミリーと呼んでいる)に分けられている。

スタッフ、ボランティアのほとんどが熱心な信者であり、利用者の表情からも、心のこもったケアが提供されていることがうかがえた。

【おまけ】

今回の研修で、「宗教、文化、制度の違い、あるいは、障がい者福祉の歴史の深さの差を感じつつも、現場で働くスタッフの思いは、共感できる部分が多く、差異がないことが確認できました。海外の福祉から学ぶ点は多く、今後幅広い視野で支援に取り組んでいきたいと思っております。



海外研修  
海外研修  
海外研修

児童福祉コース(アメリカ)  
児童福祉コース(アメリカ)

特別養老老人ホームとよた苑 副施設長 伊東 正子

9月27日(土)から10月5日(日)までの9日間、アメリカ西海岸の児童福祉施設を視察しました。その概要を報告します。

「ロサンゼルス」

9月29日(月)AM アウトドア  
ウエア・スポーツウエアで知られるパタゴニアの本社内、社員向けの託児所を視察する。

保育室が見える位置に社員食堂があり、子供の様子がうかがえる。お昼には、親が子供と一緒にランチする姿もあつたり、ハロウィンになると仮装した子供達が社内を回り社員を和ませたり、なんともアットホームな託児所である。社員350人中、57家族が利用しており、会社は親が子供のことを心配しないで働けるよう支援している。

昔は親が子供をおぶって仕事をしていたが、それでは仕事にならない。また、母の日の届く所に子供が居ることが大切と、1983年創設者のイボンシナード氏がアメリカ初の「イクエアセンター」を開始した。保育は0才からで、アメリカは13才まで



▲砂場で遊ぶ子供たち(パタゴニア)



▶お話を聞く子供たち(パタゴニア)

は健っ子にしてはいけないとの規則があり、下校後の等身保育、休校日も預かっている。託児所のまわりには、アボカ

ド、リンゴ、銀杏、びわ、サクロ、いちじく、バナナ、桃と多くの果実が植えられ、とても良い環境作りがなされていた。運営時間は、7:30~17:00。

保育については、0才児は、ハイハイ、歩くことも教える。2才児は、手を洗うこと、オムツトレーニング、皆と食事をすること。4才児は、じつと座って先生のお話を聞く。5才児は、料理、裁縫等のこつこ遊び、積木、大工、木を読む。パタゴニアでは、数種のクラスを見学したが、こつこ遊びやじつと座って先生のお話を聞く様子はとても貞剣で、子供の成長に欠かせない大切なものだと感じた。

9月29日(月)PM ザ・センター  
フォーコミュニティ&ファミ

リのサービスを視察。この施設は、低所得者のためのプレスクールである。1969年以来取り入の低い家庭に対して幼児教育、住居、食事、職業訓練の提供を行っている。毎日1万家族がサービ

ファミリーが人並の生活をするための支援が包括的になされていた。

当日は、昼食前訪問だったので、外で遊ぶ子、お当番でテーブルをセッとする子がおり、テーブルは先生の指導で順に整えられた。食事は、ボールからミートローフ、マッシュポテト、ホウレン草、メロン、ミルクを自分の食べる分だけ自分でお皿に取り分ける。自分の適量を知ること、残さずに食べることを大切さを学ばせる。大変おいしそうに大切に楽しく食事する様子に感心した。

その中で一人の女兒が、とてもなつっこく、くりくりの大きな目で近づいて来て、語りかけられると熱いものがこみあげてきた。人種をこえ人として、子供は世界の大切な子供である。健やかに生まれ安心して人並の



▲親しく語りかけてくれた女の子(ファミリーサービス)

生活ができ、教育の機会が与えられることを願う。



▲ファミリーサービスの施設長さんらと

(後編へつづく)

編集後記

私達が生きていく上で欠かすことができない「食」についての問題が日々報道されています。

食品偽装、薬物の混入など、中国産の食品に対する不安のみならず、国内の食品に対する不安もあり、食の安全が保障されない昨今、不安が募るばかりです。健康を維持し、心豊かに過ごすために、一刻も早く利用者さんが安心して食事をできるようになることを願っています。

この広報紙に掲載した個人情報は、本人もしくはご家族の同意を得て掲載しています。